

施策番号 3-3-1	施策名 景観の保全とクリーンエネルギーの推進	基本目標 快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり 政策名 自然と調和した生活環境の整備と環境の保全
主管課 施策関係課	住民生活課 建設都市整備課・企画財政課	課長名 藤野 元成 内線 111

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効利用を進めます。			町民 町内の自然環境	環境への負荷を低減し、自然環境と景観を保全する			町民が住みやすい快適な生活環境を保全する	
成果指標		説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 芽室町の景観に満足している ② 芽室町の自然環境(空気・ ③ 芽室町内の太陽光発電の 成果指標 設定の考え方	住民意識調査	住民意識調査	%	78.0	78.2	76.6	80.0	
① 芽室町の景観に満足している ② 芽室町の自然環境(空気・ ③ 芽室町内の太陽光発電の 成果指標 設定の考え方	住民意識調査	住民意識調査	%	79.2	83.5	81.5	80.0	
① 芽室町の景観に満足している ② 芽室町の自然環境(空気・ ③ 芽室町内の太陽光発電の 成果指標 設定の考え方	企画財政課調べ	企画財政課調べ	kW	899	28,259	24,659	3,000	
① 町の美しい景観づくりに向けた活動を推進し、維持していくため、成果指標に設定。 ② 自然環境を保全・活用し、次世代に受け継いでいくため、成果指標に設定。 ③ 太陽光発電等の導入により、クリーンエネルギーを推進する必要があることから成果指標に設定。								

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費 (千円)	13,773	10,452
人工数(業務量)	0.3377	0.5277

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度 の成果評価 (前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定され る理由	成果指標①②は前年度より若干低下→特段の理由なし 成果指標③の太陽光発電量が低下→固定買取価格下落 による設備導入の取りやめが主な原因と思われる。
②第4期総合計 画(後期実施計 画)の最終的な目 標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠 (理由)	・自然環境満足度と太陽光発電容量については目標値を達成できた。 ・景観満足度については目標値を達成できなかったが、概ね目標値に近い水準で維持できた。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	都市景観啓発・普及事業 クリーンめむろ大作戦推進事業 新エネルギー推進事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
③事務事業全 体の振り返り(総括)	●自然環境と景観の保全 →「クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、多くの町民が環境問題に関心を持ち、環境美化活動に参加した。 →「芽室町緑の基本計画」、「芽室町公共サイン整備計画」に基づき、良好な景観形成の促進を図った。 ●クリーンエネルギーの推進 →「芽室町地域新エネルギービジョン」、「芽室町地域新エネルギー重点ビジョン」に基づき、本町の特性に合った再生可能エネルギーや省エネルギーの導入につながった。		

### (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A:実現した  
 B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した  
 C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した  
 D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない  
 E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	《施策を取り巻く状況》 ・農業廃棄物のエネルギー化実証実験を行いペレットの製造を検討してきたが断念した。 《今後の予測》 ・町民や来訪者にとって、統一性のある公共サインや市街地緑地の整備、豊かな農村風景の保全が求められる。 ・地球温暖化による気候変動などにより、再生可能エネルギーの活用は更に重要性を増している。
	・CO2削減・エネルギー地産地消をめざしたまちづくりを

### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

#### 課題① 景観に配慮したまちづくり

「芽室町公共サイン整備計画」に基づき、公共サインの整備を実施し、景観及び交通環境の向上を目指す。

#### 課題② 自然環境・生活環境の保全

「クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、町民・事業者と連携した環境保全活動の推進を図る。

#### 課題③ クリーンエネルギーの普及

送電線の空き容量不足等の課題はあるが、地球温暖化対策としてクリーンエネルギーの普及・啓発を引き続き推進していく必要がある。

### 6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	地域における美化活動や公共サインの整備等の実施により、良好な景観形成が促進され、施策は前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
				○			
今後の取組に対する意見	計画に基づき適正に進めてもらいたい。	A:実現した	B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した	C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した	D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない	E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した	

### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	公共サインの整備は良好な景観形成に寄与していると考えられ、策定期と比較して前進したと評価する。	進捗結果	A	B	C	D	E
				○			
今後の取組に対する意見	住民意識調査の「景観に満足しているか」というのは、街中の景観なのか、自然の景観なのか、わかりやすくすると良い。	A:実現した	B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した	C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した	D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない	E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した	